



さいじょう

平成30(2018)年8月1日発行

市議会だより

第59号

特集

議会報告会

開かれた議会へ一歩ずつ

除雪板

願い事、かなうといいな☆彡

四国鉄道文化館 てつぶん七夕飾り

みずきの
ええとこ発見!



一歩ずつ！

議会報告会 を開催しました

市民の皆さんとの意見交換

○議会側から提案して実現した政策は？

⇒定例会での一般質問などに加え、毎年市長に対して政策を提言する場を設けています。提言により、伊予西条駅へのエレベーターの設置や観光施設への顔出し看板の設置などの取組が実現しました。

○政務活動費の支給額や用途は？

⇒議員1人当たり月額15,000円が支給されており、研修や書籍購入などに使用しています。

○議員定数・議員報酬について、現在の検討状況は？

⇒議会活性化推進特別委員会において、現在検討を進めている項目が解決でき次第、重要な項目として検討したいと考えています。

○平日の議会傍聴は難しいので、ケーブルテレビで放送できないか？

⇒ケーブルテレビで放送するには費用が必要になります。現在、市議会ホームページでライブ中継と録画映像の配信を行っていますので、ご活用いただければと思います。

西条市議会では、市民の皆様に関心をもたせたいと、市民の声を議会活動に反映させていくことを目的として、議会報告会を初めて開催しました。市内2か所の会場で開催し、東会場28名、西会場32名、合計60名のかたにご参加いただき、活発な意見交換がなされました。

行政への要望

- ◆総合支所の在り方について、今後の方向性を検討し、情報を公開してほしい。
- ◆介護施設の入居待機者の解消に努めてほしい。
- ◆豊かな森林環境を保全していくため、林業振興予算を増額してほしい。



東会場：西条市役所

アンケートに寄せられたご意見

- ◎ 複数の議員と話す機会が持てて良かった。これからもぜひ継続してほしい。
- ◎ 議会報告会の内容が充実し、議員と市民の近い関係が築ければ理想的である。
- ◎ 議会報告会の回数を増やして、市民の意見を反映できるような議会にしてほしい。
- ◎ 参加者が少なく、議会報告会の周知がじゅうぶんでなかったように思う。
- ◎ 選挙年齢である高校生も含め、若い年齢層の参加を促すような工夫が必要である。



平成30年

5月26日開催

開かれた議会へ

プログラム

- 議会のしくみについて
- 平成30年度当初予算について
- 市民の皆さんとの意見交換
～開かれた議会について～



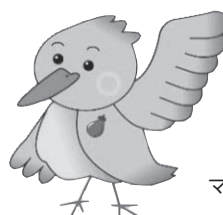
西会場：東予総合福祉センター

ご意見ありがとうございました！

すべてを掲載することはできませんでしたが、参加された市民の皆さんからさまざまなご意見をいただきました。

皆さんのご意見を次回に生かし、これまで以上に市民の声を市政に反映できるように、議員一同がんばります！

※議会報告会の詳細は、後日、市議会ホームページに掲載します。



西条市議会
マスコットキャラクター
みずき議員

本市のごみ処理施設である道前クリーンセンターは、平成3年11月の供用開始から既に26年が経過しており、経年劣化などによる老朽化が進行していることから、廃棄物を適正かつ衛生的に処理し、市民の生活環境と公衆衛生を維持・向上させるため、ごみ処理施設の整備が喫緊の課題となっています。

議会としましては、多額の経費を要するごみ処理施設の整備に当たっては、本市の財政状況や資源循環型社会の構築に向けたごみ処理システムを総合的に勘案しながら、構想・計画・実施の各段階において、専門的立場から客観的な視点で調査・研究を行う必要があると考えています。

そこで、今後、整備すべきごみ処理施設及びリサイクル推進施設に関する事項や機能、役割、更には現有施設の長寿命化に係る取組について、さ

新たに

道前クリーンセンター整備調査特別委員会

を設置しました

まざまな角度から積極的かつ広範に調査・研究するための特別委員会を設置しました。委員会の名称は、道前クリーンセンター整備調査特別委員会、委員の定数は10人、設置目的及び付議事件は、道前クリーンセンター整備に係る諸問題に関する調査・研究であります。設置期間は、調査・研究の終了までとし、閉会中も審査を行います。

委員は、次のとおりです。

委員長	楠 学
副委員長	岡 村 重 治
委員	佐々木 充
	高 橋 保
	三 好 和 彦
	山 地 美 知 一
	越 智 絹 恵
	行 元 博
	坪 井 孝 司
	伊 藤 孝 司

平成30年第3回6月定例会

平成30年度補正予算（総額56億5,850万3千円）を可決
道前クリーンセンター整備調査特別委員会を設置

平成30年第3回6月定例会は、6月4日に開会し、会期19日間をもって6月22日に閉会しました。

この間、市長提出の議案16件及び報告8件を審議し、定例会最終日の6月22日には、議案などの採決を行いました。

6月定例会では、6月11日及び6月12日の両日、議員17名が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に項目を整理して4ページから9ページにかけて掲載しています。

自民クラブ

堀江 幸二 議員



1 (一般質問)
支所機能の在り方について

市民の意見を把握して

支所機能の検討を！

問

支所機能の在り方を検討する際、最も大切なのは、市民の声に応えることであり、市民の意見やニーズを把握しながら、誰もが利用しやすい庁舎の在り方を模索する必要がある。本庁方式に移行しても、総合支所庁舎を最大限活用するなど、住民サービスの向上に努める必要があると思うが、支所機能の在り方について、市民の意見をどのように把握しているのか。

答

合併のメリットを最大限に生かすためには、本庁方式への移行が必要であると考えているが、新庁舎を建設した際の地域審議会では、市民から本庁方式に対するさまざまな意見をいただいた。こうした中、現在、市民協働によるまちづくりを目指し、地域の特性に応じた地域自治組織を確立しようとしていることから、地域住民との話し合いが不可欠な状況である。こういった話し合いの中で、支所機能の在り方も話し合われるものと考えており、結果、支所の形態が変わったとしても、身近な窓口サービスが低下しないよう体制を整えたい。



小松総合支所

坪井 剛 議員



1 (議案質疑)
CLT利用促進事業について
2 御舟川周辺整備事業について
3 権利の放棄について
(一般質問)
1 合併特例債適用期限の再延長について
2 一般財団法人愛媛県廃棄物処理センターエコニックス東予事業所について

CLT(直交集成板)の
更なる利用促進を！

問

CLTの利用促進の経費として、600万円計上しているが、どのような取組をしようとしているのか。

答

東京で開催される建築・建材展などに出展

し、全国の建築関係者に本市のCLTを認識していただけるよう広くPR活動を行うとともに、併せて商談の成約に向けた活動も実施することで、需要拡大を図りたい。

CLTの普及には、CLT建築設計者の育成が喫緊の課題であることから、県内の建築設計者を対象に、CLT建築の設計演習、技術講習会、セミナーなどを開催する予定である。

また、公共建築物の設計業務や建築審査業務に携わる市の技術職員を日本CLT協会などが開催するセミナーや講習会に派遣し、CLT建築に関する設計技術及び審査能力の向上を図りたい。



CLT(直交集成板)

白坂 均 議員



(一般質問)

- 1 ものづくりマイスター制度について
- 2 中小企業等の後継者不足問題について

未来へ引き継ごう
ものづくり技能！

問

県下有数のものづくり都市を維持するためには、ものづくりの技能やノウハウを再評価し、次世代へ伝えていく必要がある。こうした中、企業が有する技能やノウハウを広く紹介する、ものづくりマイスター制度をどのように活用しようと考えているのか。

答

人口減少や高齢化が進展する中、中小企業の多くは熟練工が持つ技術の承継や人材育成、人材確保など

の課題を抱えている。

こうした中、ものづくり産業を支える技能や技術の社会的認知度を向上させ、次世代への承継を図る制度として、厚生労働大臣表彰や文部科学大臣表彰、また愛媛マイスターや優秀技能者知事表彰などがある。

本市としては、こうした既存制度を有効活用しながら、中小企業の技術承継や人材育成などを支援していきたい。

また、中小企業に対して、これら制度の積極的な活用を促すとともに、既に受賞している技能者をホームページなどで広くPRしていきたい。



ものづくり産業を支える技能の承継を

井上 浩二 議員



(議案質疑)

- 1 (仮称) 子育て支援センター整備事業について
- 2 意欲ある畜産担い手応援事業について

ぬくもりあふれる
子育ての場に期待！

問

現在、市内には、子育て支援センターが公立保育所内に3か所、私立保育所内に5か所、合計8か所整備されている。こうした中、独立した子育て支援センターが初めて整備されるが、どのような施設内容で、どのような事業を実施することになるのか。

答

(仮称) 子育て支援センターは、木造平屋建て床面積540平方メートル、敷地面積3千333・16平方メートル

ルで、保育所・児童館・交流センターの機能を融合した市内初の複合施設である。

現在、市内8か所で実施している子育て支援センターとしての機能に加え、小松地区では新たに実施することとなる一時保育を行うほか、室内及び屋外遊技場に遊具を整備し、子どもたちと家族が気軽に遊び、交流できる場を提供する。なお、施設の間仕切り壁や屋外のひさしには、本市で初めてCLTを使用することとしており、地域材を活用したCLTの利用普及をPRするとともに、木の温かみを感じながら、和やかに子育てや交流活動ができると考えている。

庁舎内における物品の
勧誘・販売のルールは？

問

市庁舎内における職員への政党新聞の勧誘・販売・配達については、どのような手続きを経て行われているのか。

また、職員の職務の中立性を鑑み、市庁舎内における政党新聞をはじめとした物品の販促行為は禁止すべきではないかと思うが、どのように考えているのか。

答

市庁舎内における物品などの勧誘及び販売については、西条市庁舎等管理規則に基づき、市長の許可を得る必要があるが、新聞の配達のような個人契約による個別の配達については、輕易な事項に該当するため、許可申請は必要ない。

市庁舎内における政党新聞などの各種物品の購入は、西条市庁舎等管理規則による適正なルールの下、必要としている職員が個人の判断で契約しているものであり、今後とも規則に基づき適切に対応していきたい。

今井 廣一 議員



(一般質問)

- 1 市庁舎内における政党新聞の勧誘・販売について

黒川 理恵子 議員



(議案質疑)

- 1 ハイウェイオアシス線等道路改良事業について
- 2 株式会社西条産業情報支援センターの経営状況について

サイクスが今年度
取り組む重点事業は？

問

市長は選挙公約にサイクスの充実を掲げていたが、平成30年度の事業計画において、どのような事業を重点的に取り組もうとしているのか。

答

サイクスの平成30年度事業計画は、中小企業の設備投資、国内外での市場開拓、地場産品の販路開拓、水素エネルギーなどの新技術やCLTなどの地域産業資源を活用した事業展開を重点的

に支援する内容となっている。
また、自らが管理・運営する食の創造館を拠点に、6次産業化や地場産品を活用した商品開発支援、プロモーション活動の推進などにより、農業・食品関連企業を支援することとしている。
更に、農業法人に対する支援として、現在、商品開発やデザイン制作、経営支援、経営相談などを行っており、これらも引き続き実施することとしている。

三好 和彦 議員



(議案質疑)

- 1 保健体育一般管理費について
- 2 スポーツクライミング推進事業について
- (一般質問)
- 1 子どもの弱視対策について
- 2 消防団活動への支援について

子どもの弱視の

早期発見に向けて

問

子どもの弱視を早期発見・早期治療につなげるため、3歳児健康診査において弱視スクリーニング用検査機器を導入してはどうか。

答

3歳児健康診査では、視力の発達を阻害する疾病、遠視、近視などの屈折異常、斜視などの早期発見・早期治療を目的に視覚検査を実施しているが、事前に家庭で行う視力検査は正確な場合がある。検査機器を導入している自治体の状況を確認し、小児科医や医師会と協議して検査機器の導入を検討していきたい。



3歳児健康診査

西条自民

クラブ

行元 博 議員



(一般質問)

- 1 放置自転車について

条例制定の可能性は？

放置自転車の対策

問

放置自転車が旧西消防署跡地に一時保管されているようであるが、①市内で放置自転車が多い場所②年間撤去台数と所有者の引き取り台数③所有者の確認方法④放置自転車の処分手順⑤撤去・処分にかかる費用及び処分に伴い生じる売払収入⑥自転車を放置させないための対策と今後の取組⑦引き取り手のない放置自転車の譲渡について、どのように考えている

のか。

また、放置自転車の処分には、約2年以上と長い日数がかかるほか、撤去・処分には業者への委託や職員の事務処理などが必要であり、現在の方法や制度では限界がある。県内他市では、条例により放置自転車の撤去方法や保管方法、更には希望するかが再利用できるようなしくみを細部にわたって取り決めて対応している。本市においても、実情に合ったルール作りが必要と思うが、条例の制定を含め、今後、どのように取り組もうと考えているのか。



一時保管されていた放置自転車

答

旧西消防署跡地に保管されていた放置自転車は、伊予西条駅の駐輪場から撤去されたものが多く、平成27年度から平成29年度までの間に185台の撤去を行い、そのうち3台が所有者に返還されている。

防犯登録を行っている自転車については、警察署を通じて所有者に連絡を行っているが、引き取りに応じる率が低い状況となっている。

また、処分までの手順として、警察への照会、撤去時期を記した警告札の取り付け、一時保管場所へ運搬し、保管後2年を経過した自転車については、資源化物として専門業者に回収させている。

自転車1台当たりの回収単価は約290円で、平成29年度の売払収入は約3万2千円であったが、運搬に係る経費として、平成28年度及び平成29年度の2か年で約22万円の経費を要している。

伊予西条駅の駐輪場は、高校生が通学目的で利用することが多いため、市内及び近隣の高校に対して、卒業後は自転車を放置しないよう依頼す

るほか、駐輪場内に注意喚起の看板を設置するなど放置自転車の防止対策に努めている。

更に、県内の自治体では、放置自転車防止に関する条例を制定している自治体が多く、条例の制定により放置自転車の速やかな撤去や再利用、駐輪場利用者に対する利便性の向上や、自転車利用者への啓発にもつながるものと考えている。よって、今後は、条例制定を視野に入れ、放置自転車対策に取り組んでいきたい。

高橋 保議員



- 1 新学習指導要領について
- 2 小・中学校における教職員の不足について

問

文部科学省の調査では、公立小・中学校の教員採用数は、団塊世代の大量退職者を完全に補うことができず、また、近年の好景気で民間企業を志す大学生が増え、教員志望者数が低下している。全国的に教員不足が深刻な問題になっているが、本市の教職員と講師の現状はどのようなになっているのか。

また、40歳台の中堅教職員は、世代間ギャップの大きいベテランと若手の間を仲介する役割を担っているが、業務多忙な上、40歳台の教職員数が少ないため、ベテランと若手の橋渡しをすることに手が回っていない。このような状況で教職員の世代間ギャップを考慮した配置が重要だと思うが、どのように考えているのか。

更に、愛媛県が実施した平成29年度学校基本調査結果によると、本市における教員の男女比率は、男性が4割、女性が6割と女性教員が多いにも関わらず、女性管理職は非常に少ないが、女性管理職の登用率向上に向けて、どのように取り組んでいくのか。

答



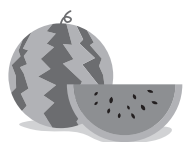
女性教員の更なる活躍を

引き上げられるなど、県教育委員会と連携して即戦力となる教員や優秀な新規採用教員の獲得を目指している。

教職員の配置については、県教育委員会に任命権があるが、市教育委員会と連携した上で、学校規模、年齢構成、現任校の勤務年数、教科など、さまざまな角度から検討し、世代間のバランスに対する配慮にも努めている。新規採用者や講師に対しては、実りある研修を実施し、レベルアップを図っている。

女性管理職の登用率向上については、校長などが女性教職員に管理職の魅力を伝え、キャリアアップのための意識の向上を図っている。教職員が働きやすい環境をハード面とソフト面の両面で整備することで男女共同参画社会を目指し、有能な人材を管理職に登用することで、学校教育の更なる充実・発展を図ってきたい。

小・中学校における 教職員不足の解消を！



西条市民
クラブ

佐伯利彦 議員



- (議案質疑)
- 1 農業労働力最適活用支援事業について
 - 2 東予東中学校技術室棟整備事業について
- (一般質問)
- 1 キウイフルーツの産地維持に向けた取組について

キウイフルーツ
産地復興に待ったなし！

問

農業の世界は競争社会であり、多くの地域が日本一の座を狙っている。今回、市内農協が中心となりニユージールランド企業と農業生産法人を設立したが、産地維持に向け、市はどう考えるか。

答

本市は、平成26年に発生したキウイフルーツかいよう病により栽培面積、生産量ともに大きく減少し、生産量は県下第3位となっている。今後、効率的で生産性の高い産地として、維持・発展するには、団地化が有効と考えている。

今回、設立された農業生産法人は、病気に強い品種により、園地の団地化を図ると伺っている。この取組により、疲弊した産地の復興とともに、雇用創出や新規就農者の研修先、大規模団地化による生産体制の確立やコスト削減、更には耕作放棄地の予防・解消が図られ、人材育成や企業型農業経営のモデルになると期待しており、国・県との補助事業の調整など、可能な限りの支援を講じていきたい。



キウイフルーツ

佐々木 充 議員



- (一般質問)
- 1 不登校児童・生徒に対する支援について
 - 2 本市の働き方改革に関する取組について

ひきこもり児童生徒と
その家族に支援を！

問

ひきこもり児童・生徒とその家族に、どのような支援を行っているのか。

答

学校では、保護者や青年イングサポートセンターなど関係機関と相談しながら、ひきこもり児童・生徒に対応しているほか、児童・生徒の状況に応じて家庭訪問を行っている。また、本市はスクールソーシャルワーカーを1名配置しており、学校と連携・協力しながら、家庭訪問や相談

できる機関の紹介など、学校で悩み事を抱えている児童・生徒やその保護者への支援を行っている。更に、スクールカウンセラーを3名配置しており、拠点となっている東予東中学校、小松中学校、西条東中学校を中心に近隣校の児童・生徒やその保護者、教職員に対しカウンセリングや相談活動を行っている。

なお、青少年育成センターでは、ヤングテレホンという電話相談によって、児童・生徒の学校生活における悩み相談に対応している。今後は、教育長が自ら児童・生徒から直接電話で相談を受ける相談ダイヤルを新たに開設する予定である。



西部ウイングサポートセンター

公明党
西条市議員団

越智絹恵 議員



- (一般質問)
- 1 がん対策について
 - 2 小・中学校における通学路の安全対策について

子ども達の未来を守る
通学路の安全対策を！

問

危険箇所の確認や不審者対応など、通学路の安全対策をどのように考えているか。

答

関係機関と連携し、不審者の情報共有や登下校指導などを行っている。今後も、子ども達の安全のため地域安全ボランティアの協力を得て、見守り頻度が少ない下校時の活動を充実させたい。

城戸 力 議員



(議案質疑)

- 1 国際交流事業について
(一般質問)
- 1 市営住宅の入居について
- 2 一般建物火災について

市営住宅の

入居要件緩和を！

問

民法改正に伴い市営住宅入居時に必要な連帯保証人の資格要件を緩和する考えはないか。

答

国土交通省は、保証人が確保できないために入居できない事態が生じないように通知を発している。しかし、連帯保証人は家賃滞納の解消や単身高齢者の緊急連絡先としての役割も果たしていることから、他市の動向を見ながら、検討していきたい。

日本共産党

西条市議員団

青野 貴 司 議員



- 1 安倍政権の働き方改革について
(一般質問)

是とするのか？

働き方改革法案

問

働き方改革は残業代ゼロ制度を導入し、過労死ラインを合法化する改悪である。市長は住民の生活を守るため先頭に立って働き方改革を打破すべきではないか。

答

多様な生き方・働き方にチャレンジすることには、新たな雇用や経済の好循環を生み出すものと考えており、引き続き国会の議論の推移を注目していきたい。

山地 美知一 議員



(議案質疑)

- 1 株式会社西条産業情報支援センターの経営状況について
(一般質問)
- 1 国民健康保険の県単位化について
- 2 本市を取り巻くエネルギー問題について

建て替えによる影響は？

四国電力(株)火力発電所

問

西条火力発電所1号機の建て替えによる経済・環境への影響はどうか。

答

経済面では資材調達や設備工事などにおいて市内企業の参画が期待される。環境面では四国電力が作成した環境影響評価準備書によると、可能な限り二酸化炭素排出削減に努めるとなっている。

会派に

属さない議員

御庄 秀 樹 議員



(議案質疑)

- 1 終末処理場増設等事業・終末処理場改築事業について

市民生活を支える

下水道事業の充実を！

問

西条浄化センターの処理汚水の増減見通しは、人口動向などを考慮して検討すべきではないか。

答

公共下水道は、人口推計データに基づき5年ごとに事業計画を見直している。今後も、人口動向を見ながら事業計画の見直しを行い、効率的な施設整備と維持管理を図っていきたい。

真鍋 顕 伸 議員



(一般質問)

- 1 平成31年度以降に向けての事業見直しについて

事業見直しの

ルール策定を！

問

本市の事業見直しに当たっては、予算編成前に内容を市民や議会に積極的に発信し、理解を得るための時間をじゅうぶん設けるなど、一定のルールの下、進めるべきではないか。

答

事業見直しにより、影響のあるかたには、丁寧に説明を行い、理解が得られるよう取り組むとともに、市民の代表である議会に対しては、意思疎通を図っていかねばならないと考えており、ルール作りなども含め検討していきたい。

総務委員会でのQ&A

(委員会審査の中から抜粋して紹介します。)

6/15開催
付託議案5件

コミュニティ施設 整備事業

Q 補助金の活用状況は？

A 地域のコミュニティ施設の整備のほか、改修や備品整備などに活用している。

西条市税条例等の一部を 改正する条例

Q 本条例の施行により、どの程度、固定資産税が軽減されるのか？

A 今回の特例措置は、中小企業を対象に固定資産税の負担を軽減するものであり、平成30年度課税実績を基に試算すると、課税標準額で約6億円、税相当額で約850万円の負担軽減となる。

高校生海外スタディ ツアー事業

Q 国際交流基金の管理・運用に対する考え方は？

A 現在の運用収益では国際交流事業が実施できないため、平成20年度からは基金を取り崩して実施している。将来的には基金の枯渇が予想されるため、今後は、ふるさと納税などの活用も検討したい。



高校生海外スタディツアー

福祉文教委員会でのQ&A

(委員会審査の中から抜粋して紹介します。)

6/14開催
付託議案4件

子育て支援センター 整備事業

Q CLTを使用した場合と通常の木材を使用した場合の事業費の比較検討状況は？

A 県補助金や合併特例債などの影響を総合的に検討した結果、現計画のCLT使用量であれば、市の負担はほとんど変わらない状況であった。

特別支援学級開設に伴う 校舎改修事業

Q 改修の内容は？

A 難聴の児童・生徒への支援を目的に、小松小学校、吉岡小学校及び東予東中学校に、防音工事を施した支援教室を整備するものである。

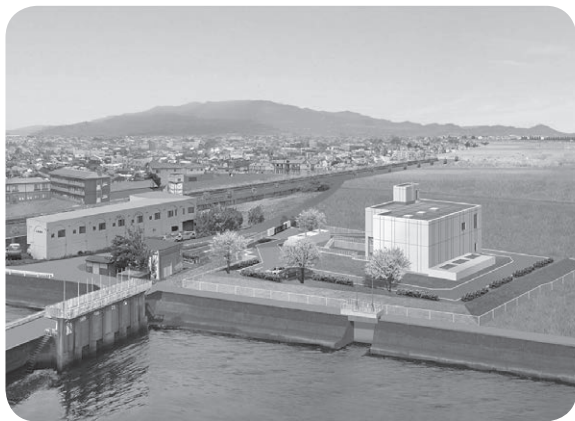
総合・丹原文化会館 施設改修事業

Q 両施設の経年劣化への対応は？

A 今後、照明のLED化や非常用電源、空調設備などの改修が必要と考えており、合併特例債が充て可能な平成36年度までに、計画的に改修を行いたい。



総合文化会館



三津屋雨水ポンプ場完成予想図

A 平成37年度までの8年間で段階的にポンプを3台整備し、1時間に48・5ミリの降雨量に対応できる施設を整備する予定である。

Q 整備によって、対応できる雨量は？

三津屋雨水ポンプ 整備事業

環境消防委員会でのQ&A

(委員会審査の中から抜粋して紹介します。)

6/14開催
付託議案3件

管渠整備事業 (オレンジハイツ)

Q 整備の内容は？

A オレンジハイツを公共下水道の事業区域に追加したことに伴う整備であり、平成31年度以降、6年から7年程度の期間で、区域内の下水道管を更新整備する予定である。

消防水利整備事業

Q 今回整備する耐震性貯水槽は、コンクリート製と鋼製FRPの2種類あるが、どのような基準で採用しているのか？

A 基本的には安価なコンクリート製を採用しているが、土地の形状などにより設置が困難な場合は、鋼製FRPの貯水槽を採用している。

産業建設委員会でのQ&A

(委員会審査の中から抜粋して紹介します。)

6/15開催
付託議案4件

CLT利用促進事業

Q 一般材より高価なCLTの利用を促進するための方策は？

A 設計者の育成や展示会への出展、CLTの利用によるメリットである工期の短縮や耐震性などの情報を発信し、需要喚起を行いたい。

御舟川周辺整備事業

Q 民間事業者が補助金を受けて整備する市民緑地は、不特定多数の市民が利用することができるのか？

A 多くの市民のかたが利用できるように、市が整備する御舟川遊歩道と市民緑地を一つの公園として一体的に整備していきたい。



工事中の市道古川玉津橋線

A 今回の6月補正予算に計上している3億3千300万円の事業費により、今年度中の完成を見込んでいる。

Q 市道古川玉津橋線の完成予定は？

古川玉津橋線道路改良事業

6月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議案第59号	西条市税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	議案第72号	西条市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第60号	平成30年度西条市一般会計補正予算(第3回)について	原案可決	議案第73号	西条市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第61号	平成30年度西条市公共下水道事業特別会計補正予算(第1回)について		議案第74号	工事請負契約の締結について	
議案第62号	平成30年度西条市水道事業会計補正予算(第1号)について		報告第1号	平成29年度西条市繰越明許費繰越計算書について	報告聴取
議案第63号	財産の取得について		報告第2号	西条市土地開発公社の経営状況について	
議案第64号	権利の放棄について		報告第3号	公益財団法人佐伯記念育英会の経営状況について	
議案第65号	新たに生じた土地の確認について		報告第4号	株式会社西条産業情報支援センターの経営状況について	
議案第66号	字の区域の変更について		報告第5号	交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	
議案第67号	土地改良事業の施行について		報告第6号	交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	
議案第68号	西条市景観条例について		報告第7号	交通事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について	
議案第69号	西条市税条例等の一部を改正する条例について		報告第8号	権利の放棄について	
議案第70号	西条市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について		委員会提出議案第1号	道前クリーンセンター整備調査特別委員会の設置について	原案可決
議案第71号	西条市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		選任第6号	道前クリーンセンター整備調査特別委員会委員の選任について	議長指名

議員別議案賛否一覧表

上表は議案などの審議結果ですが、下表には賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています。(現議員数30名)

議員名 議案 (賛成：反対)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	真鍋 顕伸	佐々木 充	佐伯 彦	城戸 力	高橋 保	藤井 武彦	三好 和彦	黒川 理恵子	今井 廣一	井上 浩二	御庄 秀樹	山地 美知一	岡村 重治	越智 絹恵	川又 由美恵	行元 博	臼坂 均	坪井 剛	西坂 壽	越智 俊幸	高橋 章哲	青野 貴司	武田 功	児玉 千春	一色 輝雄	楠 學	伊藤 新平	堀江 幸二	藤田 節雄	伊藤 孝司
議案第60号	23:6	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	○	○	×	○	○	○

※ ○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対
※ 児玉千春議員は、議長職のため表決に加わっていません。

議員の表彰

5月30日、東京都で開催された全国市議会議長会定期総会において、次の議員が表彰されました。

○市議会議員在職15年以上

堀江 幸二 議員
伊藤 新平 議員
一色 輝雄 議員
岡村 重治 議員

4月12日、八幡浜市で開催された愛媛県市議会議長会定期総会において、前正副議長に感謝状が伝達されました。

○議長の部

伊藤 孝司 議員

○副議長の部

岡村 重治 議員



みんなで推進！ LOVE SAIGO
まちへの愛が未来をつくる

編集後記

本号では、平成30年6月定例会の審議内容や議会報告会の開催内容の特集記事として編集しました。

6月定例会第3日目及び最終日(6月12日・22日)には、西条市のシティプロモーションを推進する取組を後押しするために、「LOVE SAIGO まちへの愛が未来をつくる」のロゴマークがプリントされたポロシャツを着用しました。

まだまだ暑い日が続いています。皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

市議会だより編集委員会

委員長 行元 博
副委員長 武田 恵
委員 岡村 重治
委員 越智 絹恵
委員 青野 貴司
委員 一色 輝雄
委員 楠 學
委員 堀江 幸二
委員 伊藤 孝司
委員 藤田 節雄

